



兵身協

新年のごあいさつ



公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会

理事長 **岡田和隆**

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

昨年、井戸兵庫県知事様には兵身協の現状についてご賢察、ご理解を賜り、

平成二十六年新春メッセージ （安全元気ふるさと兵庫の実現）

兵庫県知事

井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。わが国経済は、円高是正を背景に輸出産業を中心に明るさが出てきました。この動きを地方や中小企業へと広げ、持続可能な発展につなげていかねばなりません。人口減少や少子化、高齢化への対応、地域経済の再生、地震・風水害への備えなど、取り組むべき課題は明らかです。今こそ、これまでに

培ってきた力を結集し、兵庫から成熟社会にふさわしい新たなモデル構築をめざし、挑戦していくときです。

一つには、安全安心の確保です。震

災二十周年に向けて、改めて兵庫の経験と教訓を発信するとともに、地震・

津波・風水害対策に万全を期します。

また、社会インフラの長寿命化や高齢

者の地域見守りの充実など、暮らしお基盤を確かにします。

二つには、人・地域・産業の元気づくりです。若者の就業支援をはじめ、女性、高齢者、障害者の社会参画を促進するとともに、大河ドラマ「軍師官兵衛」のスタートを契機として内外の交流を拡大します。産業イノベーションの創出や農林水産物のブランド化に取り組み、産業力を強化します。

ふるさとへの誇りと愛着を育み、地域と歩む人々とともに、多様性を活かして兵庫らしい地域づくりを進めます。

そのためにも、地方分権改革と行財政改革の着実な推進が欠かせません。

二〇二〇年に東京オリンピック・パラリンピックが、その翌年には関西マスターーズゲームズ二〇二一が開催されます。豊かな自然・歴史・文化が息づき、多様な産業が躍動し、そして人々がいきいきと活動する「安全元気ふるさと兵庫」を実現し、世界へ発信していこうではありませんか。

ふるさとの未来の課題を乗り越えて

安全元気の地域をつくる

たいへんありがとうございました。また、健康福祉部の職員の皆様方からは、兵身協の事業推進に格別のご理解、ご支援を賜り、誠に有難く厚くお礼を申し上げます。

併せて、会員の皆様方には、過

なつております。

そのような中、兵庫県におかれましては『ひょうご障害者福祉プラン』及び『兵庫県障害福祉計画』について、障害者総合支援法の施行等障害者を取り巻く環境、支援ニーズの変化を踏まえた見直しを行う」としておられ、と

なりまして幸多い年になりますよう、心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

どうか皆様には、旧年に増しての更なるご活躍を、また、本年が皆様にとっておりました。今年が皆様にとっておりまして幸多い年になりますよう、心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

それが大切です。

害者も社会の一員として自立し、誰もがどこでも安心して暮らせる社会の実現に向って一致団結して頑張って行くことが大切です。

ぐる一年間を通じまして、兵身協に対する熱いご支援とお力添えをいただきましたこと、深く感謝を申し上げます。さて近年、国における障害者に関する施策の動きがたいへん慌ただしくなってきておりますが、ご承知のとおり、法律は施行されたものの多くの大切な項目が検討規定になつていています。具体的な施策については、その多くが今後の課題として残されたままになつております。

そこで、具体的な施策については、その多くが今後の課題として残されたままになつております。

そのためにも、地方分権改革と行財政改革の着実な推進が欠かせません。

二〇二〇年に東京オリンピック・パラリンピックが、その翌年には関西マスターーズゲームズ二〇二一が開催されます。豊かな自然・歴史・文化が息づき、多様な産業が躍動し、そして人々がいきいきと活動する「安全元気ふるさと兵庫」を実現し、世界へ発信していこうではありませんか。

ふるさとの未来の課題を乗り越えて

兵庫県障害者芸術・文化祭・福祉大会の開催

第9回兵庫県障害者芸術・文化祭(舞台部門)及び平成25年度兵庫県障害者福祉大会が開催されました。

後藤克子(三木市)田中峻治(宝塚市)
② 地域身体障害者支援功労表彰1名
西村正規(上郡町)

③ ボランティア貢献感謝

1名・2団体

入谷太一郎(南あわじ市)
ひょうご伴走歩協会三木練習会(三木市)
手話サークルひまわり(赤穂郡)

その他にも兵庫県知事表彰として
「心の輪を広げる体験作文」入賞者15
名、「障害者週間のポスター」入賞
者10名、公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰として「知的
障害者就労表彰」18名、公益社団法
人兵庫県精神福祉家族会連合会会長
表彰として「精神障害者社会復帰支
援活動表彰」11名に、それぞれ贈ら
れました。

① 地域身体障害者団体育成功労表彰
20名
大澤敏昭(西宮市)高田喜明(加西市)
植山八郎(多可町)徳平尚子(西脇市)
平田とも子(三木市)新谷喜平(姫路市)
村上佳史(姫路市)岩根州平(姫路市)
高橋暎子(上郡町)中谷時子(たつの市)
岡本久雄(宍粟市)谷村勝正(新温泉町)
戸田潔(豊岡市)竹田幸雄(丹波市)
吉田賀津子(篠山市)山口烈男(南あわじ市)
遠野敢(淡路市)佐藤繁俊(南あわじ市)

4 福祉大会

「地域身体障害者団体育成功労表
彰」「地域身体障害者支援功労表彰」
「ボランティア貢献感謝」が、それ
ぞれ岡田理事長から授与されました。
みなさんたいへんおめでとうござ
いました。また、たいへんありがとうございました。
どうございました。

5 芸術・文化祭

福祉大会を問にはさんで、第1部
と第2部が開催され、それぞれ4つ
のグループや団体の出演がありま
した。

第20回兵庫県身体障害者 グラウンドゴルフ県大会結果

結果報告

平成25年10月23日(水)、豊岡市の
兵庫県立但馬ドームで、第20回兵庫県
身体障害者グラウンドゴルフ県大会が
行われました。

第20回兵庫県身体障害者 グラウンドゴルフ県大会結果

団体の部

優勝	稻美A
準優勝	Nandan
第3位	西脇市

個人の部

優勝	松山光希(稻美A)
準優勝	山本清(篠山市)
第3位	芦田末太郎(丹波市)

視覚障害者の部

優勝	数矢守(Nandan)
準優勝	谷口茂隆(西宮コスモス)
第3位	月生春夫(津名)

聴覚言語障害者の部

優勝	水田善行(姫路A)
準優勝	森山修(Nandan)
第3位	新町和弘(西宮コスモス)

女性障害者の部

優勝	川崎春子(Nandan)
準優勝	赤松しのぶ(西脇市)
第3位	石本千鶴子(さんだB)

第2部

手話ソング
(豊岡聴覚
特別支援学
校)合唱・
踊り(出石
特別支援学
校)ダンス
(和田山
特別支援学
校)踊り
(出石精和
(出石精和
園)

の参加がありました。あいにくの雨天
でしたがドームでの開催により安心し
て2ゲームを行うことができました。

今大会は、従来の表彰に加えて「視
覚障害」「聴覚障害」「女性」の部が新
設され各上位者に賞品等が贈られるこ
とになり、例年以上に盛り上がりをみ
せた大会となりました。

地元の但馬地区身体障害者協議会や

関係者の皆様には大会の運営につきま
して多大なご尽力を賜り、この場を借
りて厚く御礼申し上げます。

なお、次回第21回大会は「北播ブロッ
ク」で開催

予定です。

来年度も多くの方々の
ご参加をお



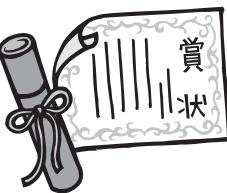
団体優勝の稻美Aチーム

和田副理事長が 厚生労働大臣表彰を受賞

第63回障害者自立更生等厚生労働大臣表彰の表彰式典が、平成25年12月12日（木）、東京・霞が関の中央合同庁舎第5号館で行われ、自立更生者、更生援護功労者、身体障害者社会参加促進功労者など全国で67名が表彰されました。



受賞を喜ぶ和田副理事長



当協会の和田修副理事長は、永年にわたり聴力言語障害者の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著であると認められ「更生援護功労者」として厚生労働大臣から表彰を受け、午後には天皇皇后両陛下に拝謁されました。

栄えある受賞を心からお喜びいたしますとともに、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



輝く笑顔の八十川会長

三田市身体障害者福祉協議会の八十川一三会長が、平成25年9月14日（土）15日（日）に、神戸市立ポートアイランドスポーツセンターで開催された

「第30回日本身体障がい者水泳選手権大会」シニア部門50メートル平泳ぎで優勝され、金メダルに輝きました。

八十川会長は、24歳の時に勤務先の紡績会社で事故に遭い、左ひじから先を失っています。

定年退職後はボランティアや身障者福祉の活動に参加しておられます。が、10年前から健康維持のため水泳を始め、平成20年の同大会でシニア部門の自由形と平泳ぎで初優勝されました。その後伸び悩みの時期があったそうですが、地元兵庫県において開催された今回の大会に5年ぶりに出場し、平泳ぎで2度目の優勝、自由形でも準優勝されました。

自分より障害の重い人が泳ぐ姿に元気をもったたという八十川会長は、「これからは自分がもらつてきた勇気や元気を与えるような泳ぎを見せたい」と、さらなる挑戦に意欲を見せています。

意思疎通障害者の集い

（県聴連結成60周年記念大会）

平成25年11月10日（日）兵庫県福祉センターにおいて、意思疎通に障害のある三団体（兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者協会・兵庫県喉摘障害者福祉協会神鈴会）からなる連合会の大会が開催され、70名の参加者がありました。

セントラーオーにおいて、意思疎通に障害のある三団体（兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者協会・兵庫県喉摘障害者福祉協会神鈴会）からなる連合会の大会が開催され、70名の参加者がありました。

来賓として岡田理事長が出席され、励ましのお言葉を頂きました。

当連合会は、昭和29年に「人として社会生活を送る上で大切なコミュニケーション方策の道筋を拓く運動団体」として発足しました。

「聴力言語障害者がお互いに理解、協力し合い、全ての差別廃止、福祉の向上、社会地位の獲得、自立社会への積極的参加、県民各層の総合理解の推進を図る」という基本的理念は60年経過した現在においても活かされています。

援事業における意思疎通支援事業の都道府県と市町の役割分担が明確化され、手話通訳者や要約筆記者の養成・研修、派遣

事業が強化されます。

一步一歩社会参加への促進が図られていますが、我々は「意思疎通支援事業は全国共通の義務的事業として、その実施において市町村での地域格差がない、また利用者にその費用を求める」ことを念頭に置き、行政当局、関係団体との連携・絆を大切にして、聴力言語障害者のさらなる福祉向上を目指します。ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

（和田）



公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会

facebook
フェイスブック
はじめました!



各種情報やイベントを発信予定です。
Facebookの閲覧には、
サイトへの無料登録が必要です。
管理者 Welfare Hyogo への
友達リクエストもよろしくお願ひいたします。

<https://www.facebook.com/>

兵身協ホームページ：
<http://www.hyoshinkyo.jp/index.html>

身体障害者相談員研修会が開催されました

平成25年11月6日（水）兵庫県福祉センターにおいて、県内30市町から身体障害者相談員約150名が参加して、研修会が開催されました。

午前の研修は「兵庫県の防災体制と災害時の要援護者支援対策」を主題に、県障害者支援課課長補佐青木健司氏の講演がありました。その内容は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえての「初動体制、防災関係機関相互の連携、地域の防災力、災害に強いまちづくり」などの大きさについて具体的な事例を紹介され、続いて、兵庫県の支援対策検討委員会が策定した支援指針に基づいて「指針策定の経緯と目的、災害に備えての要援護者名簿の整備、災害発生時の情報提供、生活支援」などの基本的な考え方を詳しく説明されました。

午後の研修では、はじめに、障害者110番相談員の井上義章氏から「身体障害者相談員への委託による相談は、身近な地域での対応を担っていることから、基礎自治体である市町に権限移譲されることになった」との説明がありました。

続いて、芦屋市身体障害者福祉協会の街情報担当杉田健子氏が、身体障害者が芦屋の街で快適に暮らしていくた



身体障害者相談員研修会

めの街情報の収集とその結果について講演されました。

「あそこで危ない目にあった、あの通りの街路樹で顔をぶつけた」という話がきっかけとなり、同市身体障害者相談員の新宮節子さん・田渕久美子さん・柳川真佐子さんとともに進められた「街情報収集プロジェクト」の活動状況について詳しく語っていただきました。

芦屋市身体障害者相談員の有志が会員の視点から実践した活動ですが、この街で障害者が暮らしやすい社会を推進していくために、街で暮らす人が「社会的障壁」に関心を持ち、具体的にどのような「合理的配慮」が必要であるか、このようなことを考える機会を与えたこの取り組みに感激するとともに認識を新たにしました。

（井上）

「第33回日身連近畿ブロック福祉大会」および「第15回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会」が、10月18日（金）、京都市内の京都テルサにおいて開催されました。

県内の各身障団体から多くの皆様がご参加くださいり、たいへんありがとうございました。

なお、来年度は大阪府で開催される予定であり、多数のご参加を期待しております。

席」「障害者が利用しやすい大型店舗」「手話に理解のある医院」「自転車のマナード」「バス車両のノンステップ化」などの意見に対しても、事業者からそれぞれ誠意ある回答があり、障害者への対応にあたたかさを感じたということです。また、障害が異なると障害の視点が変わることも知り、身体障害者相談員としての役割を果たすにふさわしい取り組みであつたと、講演の内容をまとめられました。

- ・社会参加推進協議会
- ・理事会
- ・評議員会

3月5日（水）県福祉センター

3月28日（金）県福祉センター

☆第9回兵庫県障害者芸術・文化祭（美術工芸作品公募展）

3月11日（火）～16日（日）

原田の森ギヤラリー本館（神戸市）

☆第19回障害者スポーツ交流館杯ボウリング大会

3月8日（土）スエバーボウル二見（明石市）

年始は山陰「浜坂」で松葉ガニと温泉で決まり！

力ニおすすめコース
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様
(障がい者手帳をお持ちの方)
12,000円（税込）

※写真は力ニおすすめコースのイメージです

<お品書き>
カニすき・カニ刺し・焼きガニ・カニ天麩羅・カニ味噌・カニ雑炊・フルーツ

浜坂温泉保養荘

館内パリアフリーで安心のお宿
☎(0796)82-3645
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
<http://www.hamasaka-ni.com/>

兵身協関連の主な行事